

スギ花粉症でお困りの方へご案内です！

【舌下免疫療法について】

・8月21日より、毎週火曜日に舌下免疫療法外来を開始いたしました。スギ花粉の成分を少しずつ体内に入れることで、スギ花粉に体を慣らし、アレルギーが起きないようにする治療法です。スギ花粉が飛んでいる時期は、新たに治療を開始することはできません。新規開始時期は6月1日～12月31日となります。

【対象者】

- ・12歳以上のスギ花粉症患者（花粉症の症状の程度は関係ありません）
- ・スギ花粉症の診断が必要です。アレルギー検査を受けたことのない方は当院で採血を行います。他院からの紹介状や検査結果等お持ちの場合はご持参ください。

【受けられない方・注意が必要な方】

○受けられない方

- ・重い気管支喘息の方
- ・悪性腫瘍や免疫系の病気がある方

○注意が必要な方

- ・気管支喘息の方
- ・65歳以上の方
- ・妊婦の方、授乳中の方
- ・重症の心疾患、肺疾患及び高血圧症がある方
- ・全身性ステロイド薬の投与を受けている方
- ・抜歯後や口の中の術後、または口の中に傷や炎症などがある方

など、他に服用中のお薬がある方や対象以外のアレルギーがある方も医師にご相談ください。



【治療法】

・1日1回、舌の裏にお薬をおいて、2分間そのままの状態を維持した後に飲み込みます。

・第1回目の服用は、医師の指導のもと病院で服用していただき、投与後30分間は経過を見るために待合室でお待ちいただきます。翌日からは自宅で毎日行います。

・最初の2週間は「増量期」として少量から開始して少しずつ増やし、「維持期」となる3週目からは、同じ量を服用します。

【通院頻度】

・経過観察と処方のために、しばらくは2週間に1度通院していただき、その後1ヶ月に1回の通院をおおむね3年間行うのが基本です。根気のいる治療ですが、多くの方が1年、2年、3年と続けるにしたがってだんだん症状が軽くなってくると言われています。

【副作用】

- ・軽い副作用：口内炎、舌の下の腫れ、口の中の腫れ、かゆみ、唇の腫れ、口の中やのどの不快感、耳のかゆみ、目のかゆみ、頭痛、めまい感、じんましんなど。
- ・重い副作用：非常にまれですが、アナフィラキシー、ショック
※治療を始めて1ヵ月の間やスギ花粉が大量に飛散している時は副作用が出る可能性があるのでご注意ください。



【治療を検討されている方は必ず確認してください】

- ・最低2～3年（推奨は3年以上）毎日服用を継続できる。（服用前後2時間は、激しい運動、入浴、アルコール摂取を控える必要があります。）
- ・治療開始後、数か月は2週間に1回、その後1ヵ月に1回通院ができる。
- ・すべての患者さんに効果がある治療ではないと理解できる。
- ・効果があっても終了した場合でも、その後効果が弱くなる可能性があることを理解できる。
- ・アナフィラキシー等の副作用が起きる可能性があることを理解できる。（家族の協力も必要です。）

長い文章をお読みいただきありがとうございました。根気のいる治療ですが、薬で十分な効果が得られない方や眠気などの副作用に困っている方など、一度検討されてはいかがでしょうか。この治療は保険診療となります。お気軽にご相談ください。

内科
舌下免疫療法外来